保護者等からの事業所評価の集計結果 こどもプラス川越新河岸教室

		2020年2月回収 2020年3月公開		回収13件	=		
		チェック項目	はい	どちらと	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
				もいえな			
	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されて					野外活動やプールに行く機会を増やしたり、順
境		いるか	11	2	0		番に公園へ出て室内を広く使用できるよう工夫
•	(2)	職員の配置数や専門性は適切であるか					しています 子どもの特性により、職員がマンツーマンで対
体	2	職員の配直数で等口性は適切であるが	7	6	0		応するなど、工夫しています。
制	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置な	7	6	0		がいりるなど、工人していより。
整		どバリアフリー化の配慮が適切になされている	 				
備		か					
適	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析	13	0	0		定期的な保護者との面談や、モニタリング等を
切		された上で、放課後等デイサービス計画が作成					通じ、計画を作成しています。
な		されているか					マキ・ナン
支	(5)	活動プログラムが固定化しないよう工夫されて		_			運動だけでなく、創作活動や外出などバリエー
援の		いるか	8	5	0		ション豊かな活動ができるように心がけていま
提		放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の					す。 公園や学校等へ外出する機会があり、その際、
	6	ない子どもと活動する機会があるか	0	6	6		障害のない子どもと交流はあります。保護者に
							分かりやすく伝えることに努めます。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明	13	0	0		見学時、
		がなされたか					
		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子	13	0	0		
	8	どもの発達の状況や課題について共通理解がで					
		きているか					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の	12	1	0		全ての利用者と定期的に面談をおこなっていま
保		支援が行われているか		 -			す。
護者	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等	0	5	8		
		により保護者同士の連携が支援されているか 子どもや保護者からの苦情について、対応の体	R	5	0		 苦情があった場合には、迅速に対応します。
0	(1)	制を整備するとともに、子どもや保護者に周					
説		知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切					
明		に対応しているか					
等	13	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた	11	2	0		
	12	めの配慮がなされているか					
		定期的に会報やホームページ等で、活動概要や	6	6	1		
	(13)	行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自					
		己評価の結果を子どもや保護者に対して発信し					
	_	ているか	12	4			
非常時等	14)	個人情報に十分注意しているか 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染	12 7	6	0		情報の機密性を高める仕組みづくりに努めま 教室内に開示、面談等に確認できるようにして
	(15)	※ 京の がん マーエアル いっぱく ニュアル 、	'				教室内に開示、 国談寺に確認 (さるようにして) いきます。
		明されているか					V16 & 9 °
		MICATE CV 1877					
	16)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、	6	7	0		訓練は年に数回実施していますが、実施したこ
\4+		その他必要な訓練が行われているか					とを全ての利用者に伝えるようにします。
満足	17)	子どもは通所を楽しみにしているか	10	3	0		
		古光にの土壌に洗口していてい	11	2	0	時間を延長し、中学生で	営業時間の検討が必要
	18	事業所の支援に満足しているか				 も利用したい。	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。